

4 鶴見中央地区



1. 第4期計画策定（令和3年度～7年度）

健康と防災でみんながつながる鶴見中央

目標1 声かけでみんながつながる地域づくり



■5年間の具体的な取組

- ①町内会館や公園などの身近な場所で、ご近所同士のつながりづくり
例：サロン「鶴見みんなの会」「つるいちカフェ」
- ②住民全員が分け隔てなく楽しめるイベントづくり
→（町会加入の有無を問わず、）誰もが地域とかかわりを持てるようなイベントを充実させる。
- ③企業や学校等を含め、地域全体がつながりあうための情報発信
例：広報誌「まちしるべえ」、ホームページ上での広報



鶴見みんなの会

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標2 みんなで見守りができるまち



■5年間の具体的な取組

- ①地域での防災意識を高める
例：地域防災拠点立ち上げ訓練
例：各自治会の防災組織の拡充
- ②地域での見守り活動
例：「つるみっ子見守り隊」など
例：「防犯パトロール」など



炊き出し訓練

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標3 みんなが健康にすごせるまち



■5年間の具体的な取組

- ①地域が主催する健康づくり
例：健康測定、食育講座、公園清掃など
- ②既存の活動を活用した健康づくり
例：子育て支援教室終了後の歯の健康講座など
- ③趣味や運動を通じた健康づくり
例：ラジオ体操、ペタング、グランドゴルフなど



健康測定会

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

コロナ禍の下での活動

自身の体調に留意し、体調が悪い時には無理せず、活動への参加は控えます。また、活動する時にはマスクを着け手指消毒したうえで、人との距離は2メートル空けるなどいわゆる三密を避けるなど感染対策を十分取って上記の取組を進めます。

2. これまでの取組について

<第3期計画の主な取組内容（平成28年度～令和2年度）>

あいさつと声かけでつながる鶴見中央

- 目標1 声かけでみんながつながるまち
- 目標2 あいさつで見守るまち
- 目標3 みんなが健康にすごせるまち



○5年間の地域活動

☆ 防災・防犯 ☆

- ・防災訓練（★鶴小児童が参加！）
- ・防犯パトロール
- ・放置自転車対策



☆ 地域の交流活動 ☆

- ・鶴見みんなの会（new）
- ・「まちしるべえ」の発行
- ・お祭り・おもちつき
- ・公園清掃

☆ 子育て ☆

- ・出張保育「出張保育さくらんぼの会」🍓

☆ 見守り ☆

- ・一人暮らし高齢者訪問
- ・配食サービス「みつば亭」
- ・認知症サポーター養成講座（new）



☆ 健康づくり ☆

- ・ウォーキング
- ・ペタンク
- ・グランドゴルフ
- ・ラジオ体操

<第4期計画策定に向けて>

○鶴見中央地区あいねっと推進委員会での意見

	次期計画でやりたい取り組み	
【目標1】 つながり	居場所サロン	誰でも立ち寄れる居場所づくり
	住民同士の交流	誰でも参加できるまちのイベント
	情報発信の工夫	まちしるべえの配布先の拡充
【目標2】 あいさつ・見守り	あいさつの継続・町をよくするためには挨拶は必要	子どもが見知らぬ人と挨拶しない時代のため、方法の工夫が必要
【目標3】健康	既存の活動を活用した取組み	子猫クラブの後に歯の健康講座など

○鶴見中央地区あいねっと推進委員会での意見を踏まえた話し合い

- ・「住民全員が分け隔てなく楽しめるイベントづくり」について、
 どういう体制で費用をどこから捻出するかの問題がある。
- ・地区社協の予算を使って「あいねっと」のイベント等に活用する方法がある。
- ・町会関係の取組と「あいねっと」の取組の位置づけを分けて、計画・推進していく必要がある。
- ・「あいねっと」を知らない方が多い。様々な機会に「あいねっと」を周知していく必要がある。
- ・今後、計画の実現に向けて、具体的な取組内容等について推進委員会で検討していく。

